



## 第4期いわてキボウスター開拓塾がスタートしました

4月28日、岩手大学復興祈念銀河ホールで第4期いわてキボウスター開拓塾の開講式が行われ、新たなスタートが切られました。

開講式の直後には参加学生が5チームに分かれ、第1期から恒例のりんごジュース販売実習を体験。まずは実践を通し、ビジネスにおけるアイデアと創意工夫の重要性を学びました。

販売実習の後、学生は滝沢市の国立岩手山青少年交流の家に移動し、早速キックオフ合宿が行われました。今回のメンバーは岩手大学15名、岩手県立大学5名、盛岡大学1名、富士大学1名、一関工業高等専門学校2名と5校からの参加となったこ



とから、合宿は学生同士の交流を深めることから始まりました。

今回は、第3期から継続参加した学生5名がそれぞれリーダーとなり、リーダーの考えたテーマについて一緒に取り組みたいという学生とチームを作って活動するスタイルをとっています。合宿2日目の29日には、5名の学生リーダーからそれぞれのテーマについて説明が行われ、5つのチームが編成されました。

学生がスタート時にリーダーを務めてチームをまとめ、それから地元起業家の指導を仰ぐという初の試みに挑む今期の開拓塾。学生達がチームマネジメントという難題を通して成長することを期待しています。

## 地域志向型インターンシップのメニューが増えました

一昨年度、岩泉型インターンシップとしてスタートし、昨年度は他のCOC+参加自治体も加わり広がりを見せてきた「地域志向型インターンシップ」。今年はさらにメニューが増え、学生の選択肢も広がりました。特に一関の農業インターンシップ

は、いわてキボウスター開拓塾の4期生が、ビジネスプランをブラッシュアップするためのケーススタディとして学生の募集やプログラム作りに関わるなど、インターンシップの新たな展開を模索しています。

### H30年度 いわて地域志向型インターンシップ 一覧

名称	概要	受入期間	交通・宿泊など
岩泉型インターンシップ	観光・小売業、製造業、公務、林業の4つのコースがあり、全て同時期に合宿方式で実施。夜間は参加者全員での振り返り、OB&OGの話を聞く会など「地域で暮らすこと」を考えるプログラムも体験できる。	8/24-8/31	盛岡-岩泉間の往復交通費(JRバス)、インターンシップ期間中の宿泊費全額岩泉町負担
葛巻型インターンシップ	まるごと公務、公務&酪農・畜産・食品加工(牧場)、公務&ホテル、公務&製造・販売(ワイン工場)の4つのコースの中から選択。葛巻町内の施設に宿泊しながら4泊5日で行う。地域行事への参加、大学の先輩と語る会、体験で関わった職員との交流会など葛巻の魅力や魅力を存分に実感できる。	8/20-8/24 (応相談)	いわて沼宮内駅から体験場所、各体験場所間の送迎あり。宿泊料全額葛巻町負担
インターンシップ in 二戸	漆、日本酒、家づくり、精密板金加工、アパレル、食品加工など二戸市を代表する6社でそれぞれテーマを持って取り組むインターンシップ。	8/20-8/24	居住地等からインターンシップ先(二戸地域の事業所)までの交通費及び地域内に宿泊した場合の宿泊費用を助成(上限25,000円)
花巻市大迫~真夏のぶどう栽培インターンシップ~	農業を通じて地域で生き残る力、考え方の視野を広げ、農業に対する理解を深めるインターンシップ	8/28-8/30	インターンシップを行う花巻市内事業所から最寄駅または宿泊地の往復の移動に要したタクシー料金を助成
一関 農業インターンシップ	一関の広大な自然の中に滞在しながら、農作業体験、農家との交流、マーケティング、情報発信、農業と福祉の連携、農業・農村の地域づくりに至るまで、まるごと体験できるプログラム。農業初心者向け2コース、農学部生向け1コースを用意。	9/5-9/11	宿泊場所・食事を提供。交通費の一部を最大20,000円助成
株式会社 スパット北上x地域型プロジェクト	北上市諏訪町商店街に新しくオープンしたシェアオフィスを拠点としながら、街を盛り上げる秋のイベント企画を行うインターンシップ	8/29-9/4 (うち平日5日間)	交通費の一部を助成。宿泊が必要な場合は応相談

## 「ふるさと発見!大交流会 in Iwate 2018」を開催します

12月15日(土)、滝沢市の岩手産業文化センター(アピオ)で「ふるさと発見!大交流会 in Iwate 2018」を開催します。

このイベントは、学生が岩手県内の企業や団体等との交流を通じて社会の在りようを学び、学生自らが生き方・働き方を主体的に考える学びの場を提供することで、県内事業所への関心を深めてもらい、地元就職への機運を高めていくことを目的としたものです。

岩手大学第一体育館で行われた昨年は、173の出展ブースに約2,000名の来場者が訪れ、大変な賑わいを見せました。参加した学生からは「県内企業について興味が湧いてきた」、出展事業

者からも「学生と接点を持つことができ、企業を知ってもらいたい機会になった」等多くの好評を頂いたことから、今回、会場をより大きな場所に移し第2回目を開催することとなりました。

「学生が主役」を志向する本イベントならではの取組として、出展が決まった事業所への事前取材、SNS等での情報発信、当日の運営企画等、昨年に引き続き今年も学生実行委員会が学生独自の目線で運営全般に主体的に関わっていきます。

本イベントでは現在、出展団体を募集しています(応募締切8月10日(金))。詳しくは、実行委員会事務局(岩手大学COC推進室内)までお問合せ下さい。

## 外部評価委員会を開催しました

ふるさといわて創造プロジェクトの活動実績について第三者による客観的な評価を行う外部評価委員会を、5月28日に岩手大学で開催しました。

当日は、共愛学園前橋国際大学長 大森昭生氏(委員長)、一般社団法人RCF 秋保裕子氏、弘前大学副理事 曾我亨氏、東北経済産業局産業部産業振興課長 遠藤憲子氏、公益社団法人経済同友会常務理事 岡野貞彦氏の全委員にご出席頂きました。

ふるさといわて創造協議会会長の岩淵明岩手大学長からの挨拶に続き、平成29年度の活動内容について、小野寺純治 COC+推進コーディネーターより自己点検評価書に基づいて説明を行ったのち、各委員からご意見・ご質問を頂きました。

委員からは、様々な取組が実施されており、特に昨年開催した「ふるさと発見!大交流会 in Iwate 2017」については、学生実行委員会が組織された学生主体のイベントであった点、これ



までない学生と事業者の交流の機会となった点について高く評価された反面、事業全体を通してこれまで実施した取組がどのような効果を上げたのか分析・検証が必要等の指摘を頂きました。

最後に大森委員長から、事業の自立化に向けて、今取り組んでいる様々な事業の中から今後どれを選択

していくべきか取組効果を分析するとともに、いかにその成果をアピールしていくかが今後の課題との講評を頂きました。

今回頂いたご意見を今後の活動に反映し、引き続き、高等教育機関、自治体、産業界が連携しながら着実に事業を推進していきます。



## ふるさといわて創造協議会全体会議を開催しました



ふるさといわて創造協議会の全体会議を6月20日、自治体、産業界、高等教育機関などの関係者約60人が出席し、岩手大学復興祈念銀河ホール

で開催しました。岩淵会長の挨拶に続いて、小野寺純治 COC+推進コーディネーターより平成29年度事業実績及び平成30年度事業計画について説明が行われ、了承されました。また、協力大学として岩手医科大学の参加が報告されました。

全体会議の後には、COC+が関わる様々な取組に参加する学生をパネリストに迎え、「今、いわてで輝く学生達」と題したシンポジウムを開催しました。冒頭、八代仁岩手大学副学長から趣旨説明があり、続いて岩手大学COC推進室 船場ひさお特任准教授の司会のもと、学生5名によるパネルディスカッ

ションが行われました。パネリストとして登壇したのは、一関工業高等専門学校4年三浦大輝さん、岩手県立大学3年加倉侑輝さん、新屋紗穂さん、岩手大学4年久保田真美さん、同大3年佐藤瑞穂さん。いわてキボウスター開拓塾やふるさと発見!大交流会 in Iwate 学生実行委員会のメンバーとして活動する彼らに、参加のきっかけや各自の活動内容、活動を通して自分の中に生まれた変化、これから挑戦したいことなどについて率直な思いを語って頂き、実際に活動に参加した学生によるリアリティのある意見に触れる機会となりました。

今年度、COC+事業は4年度目に入りましたが、大交流会、地域志向型インターンシップなど地域を知る取組をさらに強化し



ていくとともに、補助事業終了後の自立化も見据え、産学官の協働体制をより強固なものにしながら取組を促進していきます。

## 参加高等教育機関の平成29年度県内就職率について

参加高等教育機関の平成29年度県内就職率は実績値43%と、目標値51%に対して8ポイント、28年度実績45%に対しても2ポイント下回る格好となりました。

COC+の活動は学生に徐々に浸透しつつあるものの、平成29年度卒業生についてはCOC+が目指す「いわて創造人材」育成のための教育を履修していないこともあり、県内企業についてもほとんど知らない状況であったと言えます。加えて、首都圏大手企業をはじめとする県外企業が旺盛な採用活動を展開しているのに対して、県内企業の採用活動は依然として出遅れている傾向にあるため、結果として首都圏企業を中心とする県外企業に学生が流れてしまったものと考えられます。

COC+では、学生に県内企業を知ってもらう取組として、昨年「ふるさと発見!大交流会 in Iwate 2017」を開催しましたが、多くの学生から「参加してよかった」という感想が寄せられ、学生の目が県内企業に向ききっかけとして意義のあるイベントとなりました。大交流会で醸成されたこの良い流れを止めることなく、より多くの学生に県内企業の魅力を知ってもらえるよう、今年度も引き続き大交流会や企業見学バスツアー、インターンシップなど、様々な取組を展開していきます。

	平成28年度 実績値	平成29年度	
		目標値	実績値
参加高等教育機関県内就職率	45%	51%	43%